

資料6

Ⅲ② 経営健全化計画の完了報告の概要について

○経営健全化計画の完了報告を行った団体

事業区分	都道府県名	市区町村	会計名	概要掲載 ページ
交通事業	愛知県	名古屋市	自動車運送事業会計	1
	佐賀県	佐賀市	自動車運送事業会計	4
病院事業	北海道	深川市	病院事業会計	6
		由仁町	病院事業会計	8
	兵庫県	三木市	病院事業会計	10
と畜場事業	徳島県	徳島市	徳島市立食肉センター事業 特別会計	12
宅地造成事業	鳥取県	米子市	流通業務団地整備事業特別 会計	15

# 愛知県名古屋市 自動車運送事業会計

## 経営健全化計画完了報告(要旨)

### 1 経営健全化計画の平成25年度実施状況

#### (1) 計画と具体的な措置の状況

- ・資金不足額：平成25年度の実績額29億円。計画額68億円より39億円の改善。

〔39億円の内訳〕

平成24年度までに33億円の改善

平成25年度に6億円の改善

- ・収入増加方策の効果額が計画を3億円上回った。
- ・支出抑制方策の効果額が計画を14億円上回った。
- ・一般会計補助金を計画より3億円縮減した。
- ・経営基盤安定化方策の効果額が計画を4億円下回った。
- ・他会計からの出資が計画を4億円下回った。

- ・資金不足比率：平成25年度の実績値14.9%。計画値35.1%より20.2ポイントの改善。

#### ・収入増加方策

マナカ付学生証の導入やマナカ3周年キャンペーンを実施したほか、ゴールデンウィーク特割ドニチエコきっぷをはじめとしたよりお値打ちな乗車券の発売、各種スタンプラリー、他事業者とのタイアップによる駅ちかウォーキングの実施など積極的な乗客誘致に努めたことにより、効果額は計画を3億円上回った。

#### ・支出抑制方策

給与カットの継続、生涯賃金で約20%の減となる給料表のすべての現業職員への適用など人件費の抜本的な効率化や、経費の節減等の効果額は計画を14億円上回った。

#### ・自動車運送事業の経営基盤安定化方策

バス回転場用地の一部売却による収入増があったものの、交通事業基金の取崩額が計画を下回ったことにより、効果額は計画を4億円下回った。

#### ・自動車運送事業会計への他会計からの出資

一般会計からの出資は計画を4億円下回った。

## (2) 資金不足額解消の状況

(単位：億円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)
当初計画 A		△9	28	9	4	5
解消実績額 B		5	40	11	9	11
現在計画 C		—	—	—	—	11
B-A又はC-A		14	12	2	5	6
資金不足額	105	100	60	49	40	29

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

## (3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)		平成24年度 (第4年度)		平成25年度 (第5年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足 比率	55.3	61.0	53.6	44.9	31.7	39.6	26.1	37.7	20.8	35.1	14.9

## (4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・お客様サービスの向上  
車内確認用補助ミラーを大型・中型ノンステップバス全車に設置するとともに、車内案内放送に路線誤認を防止する対策を講じたほか、ノンステップバスの購入、照明付標識・上屋・ベンチの整備、施設の耐震対策など、安心・安全で快適なサービスの提供に努めた。
- ・活力ある職場づくり  
「人財育成プログラム」の実施、職員提案制度、局長ホットラインなどにより、職員がいきいきと働くための職場づくりに努めた。
- ・計画の進行管理  
外部有識者の意見をふまえ進行管理を行うため設置した名古屋市交通事業経営健全化委員会を、5月及び12月に開催した。

## 2 今後の公営企業の経営の方針

### (1) 収入の増加に関する事項

ニーズや利用実態をふまえた運行経路の変更・ダイヤの改正をはじめとして、ノンステップバスの購入、照明付標識・上屋・ベンチの整備など、お客様が快適で利用しやすいサービスの提供に努めていく。

また、市バス・地下鉄を利用したお出かけのきっかけとして、期間限定のお値打ちな乗車券の発売、各種スタンプラリーの実施、集客施設での利用促進キャンペーンの実施、おでかけポスターの掲出など、積極的な乗客誘致に努めていく。

### (2) 支出の削減に関する事項

若年嘱託制度の活用とあわせて、定年退職後の職員を再雇用・再々雇用職員として活用することなどにより、人件費の削減を図るほか、エコドライブの実施による自動車燃料費の節減など経費の節減に努めていく。

### (3) その他

市バスの事業運営にあたっては、安全輸送の確保が最も優先される場所であり、運行ミスや事故の防止とともに、コンプライアンスの推進に全力で取り組み、お客様が安心してご利用いただける市バスを目指していく。

## 佐賀県佐賀市 自動車運送事業会計

### 経営健全化計画完了報告(要旨)

#### 1 経営健全化計画の平成25年度実施状況

##### (1) 計画と具体的な措置の状況

- ・ 給与支給額の抑制については、当初計画どおり実施（平均3%カット）。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施（150,000千円）。

##### (2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成23年度		平成24年度		計画最終年度 (平成25年度)
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
当初計画	A	659,057	△1,361		159,736		150,557		141,673
解消実績額	B		43,042		172,785		132,170		136,333
現在計画	C		43,042		172,785		132,170		136,333
B-A 又は C-A			44,403		13,049		△18,387		△5,340
資金不足額			616,015		260,127		127,957		—

備考

- 1 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

##### (3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成23年度		平成24年度		計画最終年度 (平成25年度)	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金 不足比率	101.0	103.8	95.0	51.6	39.3	29.5	19.6	8.5	— (解消)

(4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・計画内容を市民に広く周知するため、市及び交通局のホームページに経営健全化計画を掲載するとともに、市の広報誌に実施状況の概要を掲載。

2 今後の公営企業の経営の方針

(1) 健全な経営の確保に関する事項

- ・「佐賀市営バス事業経営計画」（平成26年度～平成30年度）を策定。

① 収入の増加に関する事項

- ・学生、高齢者を対象にした新規商品、サービスの企画開発。
- ・一般会計からの経営健全化資金繰入れの実施（平成26年度）。

② 支出の削減に関する事項

- ・給与の適正化のための給与制度の見直し。

③ サービス向上に関する事項

- ・ノンステップバスの計画的導入。
- ・バス停上屋やベンチの設置によるバスを待つ環境の整備。

(2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

- ・「佐賀市営バス事業経営計画」を実施するために職員の意識改革に努める。
- ・各種取り組み及び収支状況については、交通局のホームページで報告する。

## 北海道深川市 病院事業会計

### 経営健全化計画完了報告(要旨)

#### 1 経営健全化計画の平成25年度実施状況

##### (1) 計画と具体的な措置の状況

- ・ 人件費等の削減については、概ね当初計画どおり実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。(1,092,798千円)

##### (2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)
当初計画 A		△138,000	△2,000	218,000
解消実績額 B		△66,082	218,803	199,222
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		71,918	220,803	△18,778
資金不足額	1,543,168	1,609,250	1,390,447	1,191,225

年度 区分	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)	計画最終年度 (平成27年度)
当初計画 A	177,000	196,000	203,000
解消実績額 B	243,956	237,828	—
現在計画 C	—	237,828	203,000
B-A 又は C-A	66,956	41,828	0
資金不足額	947,269	709,441	300,441

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	41.1	47.9	45.1	46.2	38.9	39.6	32.6

年度 資金不足比率	平成24年度 (第4年度)		平成25年度 (第5年度)		計画最終年度 (平成27年度)
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	34.8	25.9	29.6	18.5	18.5

(4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 「深川市立病院経営健全化計画外部評価委員会」を設置し、評価結果をホームページで公表。

2 今後の公営企業の経営の方針

(1) 健全な経営の確保に関する事項

①収入の増加に関する事項

- ・ 医師の確保と定着に努め、地域の中核病院としての充実を図る。
- ・ 診療報酬の加算等の取得に努め、医業収益の増収を図る。

②支出の削減に関する事項

- ・ 職員の適正配置を継続し、人件費の抑制に努める。
- ・ 引き続き各種経費について、費用対効果の検証、見直しを行い、経費節減に努める。

③その他

- ・ 地方公営企業法に基づく繰出基準額を基本としつつ、累積不良債務の解消等のため、一般会計からの適切な繰入れに努める。



## 北海道由仁町 病院事業会計

### 経営健全化計画完了報告(要旨)

#### 1 経営健全化計画の平成25年度実施状況

##### (1) 計画と具体的な措置の状況

- ・ 人件費等の削減については、概ね当初計画どおり実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。(287,919千円)

##### (2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)
当初計画 A		72,112	77,100	84,100
解消実績額 B		73,683	86,711	76,059
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		1,571	9,611	△8,041
資金不足額	441,461	367,778	281,067	205,008

年度 区分	平成24年度 (第4年度)	計画最終年度 (平成25年度)
当初計画 A	85,400	73,700
解消実績額 B	103,786	54,356
現在計画 C	—	54,356
B-A 又は C-A	18,386	△19,344
資金不足額	101,222	46,866

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

### (3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	135.1	106.9	105.3	84.3	77.0	57.7	53.0

年度 資金不足比率	平成24年度 (第4年度)		計画最終年度 (平成25年度)	
	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	34.1	27.5	13.6	13.0

## 2 今後の公営企業の経営の方針

### (1) 健全な経営の確保に関する事項

- ① 収入の増加に関する事項
  - ・他の医療機関との連携による慢性期患者の利用率の向上、受診環境の向上による外来患者の確保に努める。
  - ・現行病床数に必要な医師・看護婦の確保、必要かつ適正な診療による医療費の確保を図る。
- ② 支出の削減に関する事項
  - ・効率的な職員配置を行うとともに、職員給与費の削減を継続する。
  - ・後発医療品の利用拡大、的確な在庫管理による薬品費の適正化を進める。
- ③ その他
  - ・引き続き資金不足の改善及び解消に努める。

### (2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

- ・院内全体で経営改善の取り組み意識を共有し、随時、経営状況の要因分析と対応策の検討を行う。

## 兵庫県三木市 病院事業会計

### 経営健全化計画完了報告（要旨）

#### 1 経営健全化計画の平成25年度実施状況

##### (1) 計画と具体的な措置の状況

###### 1 医師の確保

- ・大学の医局への派遣要請を継続するとともに、独自の人脈や民間の求人会社等の活用により医師の確保を進めた結果、平成25年9月には医師59名体制となり、目標を16名上回った。

###### 2 看護師の確保

- ・看護師確保プロジェクトチームを設置するなど看護師確保に努めた結果、平成25年9月には北播磨総合医療センター企業団から派遣の看護師を加えて254名の体制となり、目標を44名上回った。

###### 3 地域連携の強化

- ・平成24年11月に地域医療支援病院として県から承認を受けており、平成25年度も引き続き地域の医療機関との連携強化に努めた。

###### 4 人件費の削減

- ・平成25年度も、平成21年7月から実施している医師以外の職種の給与の平均7%カットを継続して実施した。

###### 5 経費の削減

- ・平成25年度も、引き続き経費削減に努めた。

###### 6 一般会計からの支援

- ・地方公営企業法に基づく高度医療や救急医療等の不採算経費に関する一般会計からの繰入を継続し、平成25年度は計画どおり5億円の繰入れを行った。

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)
当初計画 A		136,100	△ 295,000
解消実績額 B		269,985	△ 136,630
現在計画 C		-	-
B - A 又は C - A		133,885	158,370
資金不足額	1,101,100	831,115	967,745

年度 区分	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)	計画最終年度 (平成 25 年度)
当初計画 A	△ 10,000	60,000	1,160,000
解消実績額 B	△ 226,305	△ 46,590	2,421,619
現在計画 C	-	-	2,421,619
B - A 又は C - A	△ 216,305	△ 106,590	1,261,619
資金不足額	1,194,050	1,240,640	-

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	23.6	20.6	17.9	23.7	19.4

年度 資金不足比率	平成 23 年度 (第 3 年度)		平成 24 年度 (第 4 年度)		計画最終年度 (平成 25 年度)	
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	21.7	23.2	20.7	22.9	-	-

2 今後の公営企業の経営方針

- ・ 北播磨総合医療センターが平成 25 年 10 月 1 日に開院したことに伴い、同日付けで三木市病院事業会計は廃止した。

徳島県徳島市 徳島市立食肉センター事業特別会計

経営健全化計画完了報告（要旨）

1 経営健全化計画の平成 25 年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

- ・計画の概略は、平成 22 年度から平成 25 年度までの 4 年間で総額 734,129 千円の累積赤字を一般会計からの繰入によって解消し、資金不足比率を 0%とするもの。
- ・平成 25 年度は、当初計画どおり一般会計から 183,530 千円の繰入を実施し、資金不足額が解消することとなった。

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分 \ 年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		—	183,533	183,533
解消実績額 B		—	183,533	183,533
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		—	—	—
資金不足額	734,129	734,129	550,596	367,063

区分 \ 年度	平成 24 年度 (第 4 年度)	計画完了年度 (平成 25 年度)
当初計画 A	183,533	183,530
解消実績額 B	183,533	183,530
現在計画 C	—	183,530
B-A 又は C-A	—	—
資金不足額	183,530	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

### (3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	458.0	620.4	655.7	465.3	533.7	310.2	383.3

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		計画完了年度 (平成 25 年度)	
	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	155.1	190.9	—	—

### (4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・国内競争力の強化と海外を含めた販路拡大を図るため、タイ向けの輸出牛肉を取り扱う施設の認定を取得した。
- ・今後も本市食肉センターの利用料金の確保及び増収に向けて、指定管理者制度を有効に活用し、業界と一体となった取組みを進める。
- ・平成 22 年度に設置した徳島県や指定管理者を構成員とする「徳島市立食肉センター活性化検討協議会」において、当食肉センターの経営基盤の強化や実効性のある活性化策について協議を進める。

## 2 今後の公営企業の経営の方針

### (1) 健全な経営の確保に関する事項

#### ① 収入の増加に関する事項

- ・一般会計からの適正な繰入金の確保に努める。

#### ② 支出の削減に関する事項

- ・老朽化した設備を計画的に更新することで、財政負担の平準化を図るとともに維持管理費の抑制に努める。

③ その他

- ・地産地消の推進や輸出食肉認定制度を活用した販路拡大の取組みを、指定管理者や業界と一体となって進めることにより、と畜場経由率の向上や利用料金収入の確保を図る。

(2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

- ・指定管理者制度を有効に活用するとともに、より効率的な経営のあり方について研究や検討を行う。
- ・これまでの経営健全化計画の成果を引き継ぐとともに、今後も経営の合理化に努め、持続可能な運営を維持する。

## 鳥取県米子市 流通業務団地整備事業特別会計

### 経営健全化計画実施完了報告(要旨)

#### 1 経営健全化計画の平成25年度実施状況

##### (1) 計画と具体的な措置の状況

- ・分譲による進出により分譲済面積が拡大（約7,230平方メートル）し、団地利用率が約95.7パーセントに増加した。
- ・流通業務団地整備事業経営健全化計画に基づき、一般会計から30億8,813万8,000円を繰り入れ、資金不足をすべて解消した。

##### (2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)
当初計画 A		△130,252	△119,857	△117,079	△108,170	2,641,904
解消実績額 B		△240,602	△202,993	△72,871	△91,800	2,774,812
現在計画 C						2,774,812
B-A 又は C-A		△110,350	△83,136	44,208	16,370	132,908
資金不足額	2,166,546	2,407,148	2,610,141	2,683,012	2,774,812	—

##### (3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年 度の前年 度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)		平成24年度 (第4年度)		平成25年度 (第5年度)	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足 比率	54.4	56.9	60.6	63.5	67.5	70.8	72.9	79.2	83.3	—	—



#### (4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

第三セクター等改革推進債を活用し、一般会計から流通業務団地整備事業特別会計への繰入れを行い、平成25年度末で流通業務団地整備事業特別会計を廃止した。

#### 2 今後の公営企業の経営の方針

※平成25年度末をもって流通業務団地整備事業特別会計は廃止した。